

これまでの検討内容について

NO	調査項目	検討フロー																				
(1)	バス路線再編に関する調査	<p><b>(資料2) 路線仕分け・サービス基準の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス路線（区間単位）について、5種類のタイプ別（基幹的なバス路線タイプ2種類、補完的なバス路線タイプ3種類）に分類</li> <li>運行本数を競合区間は3割削減、単独区間は1割削減の方針のもと、サービス基準を設定</li> </ul>			<p><b>(資料3) 相浦方面を中心としたバス路線・サービスの見直し検討</b></p> <p><b>相浦方面の再編案の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者による再編案の検討</li> <li>理想論の検討</li> <li>※共通定期券の導入は必要</li> </ul> <p><b>その他の路線</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パターンダイヤ化の可能性の検討</li> </ul>			<p><b>(資料4) 共同運行・共通定期券について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相浦方面での再編を契機とした導入可能性の検証</li> </ul>			<p><b>(資料5) 今回検討した現実的な再編の方向性及び将来的な再編の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○今回検討した現実的な再編の方向性</li> <li>○将来的な再編の方向性                             <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて乗継・乗換利便性を高めながら、コンパクトな範囲で利用者ニーズにあった運行を実現（<b>中心市街地での新たな運行拠点の設置等</b>）</li> </ul> </li> </ul>			<p><b>(資料6) 経営シミュレーションの実施</b></p> <p>以上を踏まえ、複数ケースでシミュレーションを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○相浦方面での事業者による積み上げ式の再編計画を実施した場合（資料6-1）</li> <li>○サービス基準に適合するような「抜本的な再編」を行った場合（資料6-1）</li> </ul>			<p>協議会報告</p>					
(2)	新たな転回場の可能性検討																					
(3)	鉄道とバスの連携策についての調査	<p><b>(資料7) 鉄道とバスの連携策</b></p> <p>MRと西肥バスとの連携策として、バス定期利用者がMRへの乗車可能な定期券等の検討</p>																				
(4)	交通不便地区対策に係る調査	<p><b>(資料8) 交通不便地区対策の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>郊外におけるデマンド交通への転換の基準および対象路線の抽出</li> <li>市街地周辺の住宅地における超小型バスの導入エリアの検討</li> </ul>																				
(5)	利用促進・需要創造策に係る調査	<p><b>(資料9) 利用促進・需要創造策に係る調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長崎県立大学と連携した利用促進・需要創造策の検討</li> </ul>																				